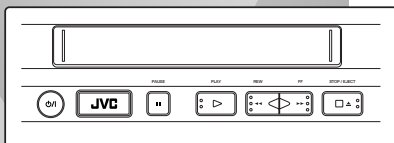


モバイルビデオカセットプレーヤー

型名 **KV-V8**

## MOBILE VIDEO CASSETTE PLAYER



# KV-V8

お買い上げいただき、ありがとうございます。

### ⚠ ご使用の前に

- この「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

- 「安全上のご注意」は別紙に記載されています。
- 本機にはテレビチューナーが付いていませんので、テレビ放送の受信はできません。
- 本機は、映像入力/音声入力端子がないテレビとは接続できません。
- 車への接続は、別紙の「取付説明書」をご覧ください。

Hi-Fi VHS

# 1 使用上のご注意

本機はDC12V、マイナスアース車専用です。  
大型トラックなどの24V車には使用できません。

## 設置場所について

次のような場所で使用したり放置しないでください。故障の原因となります。

- 直射日光があたるような暑いところ（リアトレイやダッシュボードの上など）やヒーターの熱風を直接受ける場所など異常に温度の高くなる場所
- 極端に寒いところ
- 動作温度：0℃～+40℃
- 強い電波や磁気の発生するところ  
磁気の影響を受けて大切な記録が損なわれたりすることがあります
- 雨が吹き込むところや、湿気の多いところ

## 使用上のご注意

- 真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に本機を使用するときは、車内が常温になりしばらくしてからご使用ください。
- 自動車のエンジンをかけた状態でご使用ください。エンジン停止中に使用すると、自動車のバッテリーが消耗し、エンジンの始動ができなくなる原因となります。
- 本機の動作中（再生、早送り、巻戻しなど）に接続を外しますと故障の原因となります。外すときは必ずビデオカセットを本体より取り出してから行ってください。
- シガレットライターソケットをご利用の場合
  - エンジンキーを「切」にすると、本機の電源も一緒に切れます。再度使用するときは、本機の電源を入れてから操作し直してください。
  - エンジンキーを「切」にしたとき、シガレットライタープラグのランプが消えることを確認してください。車種によっては、消えないことがあります。このようなときは、バッテリー上がりを防止するため、必ずシガレットライタープラグを抜いておいてください。
  - エンジンキーを「切」にするときは、必ず本機を停止状態にしてから「切」にしてください。動作中に「切」にすると、テープをいためたり故障の原因となります。本機が正しく動作しないときは、一度本機の電源を切ってから再度電源を入れて操作し直してください。
  - 動作中にエンジンをスタートすると、テープのたるみ取り動作を行ったあと停止します。

## お手入れについてのご注意

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので避けてください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり塗料がはげるといった原因となります。

## 美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

- 本機は、磁気テープの再生のために非常に高い精度を必要としています。特にビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗してきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）等に左右されますが、およそ1,000時間を目安に点検（清掃、注油、一部部品交換）されることをお勧めいたします。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ビデオカセット

- テープを走行させないで、ビデオカセットを何回も出し入れしないでください。
- 再生したあとは、巻きむらを防ぐために、テープをはじめまで巻き戻してください。
- 本機にビデオカセットを入れたまま放置しないでください。車内が高温になったときカセットが変形し取り出せなくなる恐れがあります。また、つゆつきが起きたとき、故障の原因となります。
- ビデオカセットを車内に放置しないでください。車内が高温になったとき変形の恐れがあります。

# 2 保証とアフターサービス

## 保証書（別途添付しています）

## 補修用性能部品の最低保有期間

## ご不明な点や修理に関するご相談は

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

当社は、ビデオカセットプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お買い上げの販売店または添付のサービス窓口案内をご覧ください。お近くの「サービス窓口」にお問い合わせください。

## 修理を依頼される場合は（持込修理）

項目⑥に従って調べていただき、なお正しく動作しないときは、電源を切り、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。万一、本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に再生できなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

## ご連絡していただきたい内容

品名	モバイルビデオカセットプレーヤー
型名	KV-V8
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	( ) -

## 愛情点検

●長年ご使用のビデオカセットプレーヤーの点検をぜひ!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない。
- 電源コードが異常に熱い。
- 異常な臭いや音がする。
- 水や異物が入った。
- その他の異常な故障がある。



ご使用を中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

## 美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットプレーヤーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをお勧めいたします。

## ③ 特長

- 4ヘッドステレオハイファイ・ビデオカセットプレーヤー
- 耐振設計・高信頼度で「縦置き、水平置き」姿勢でも使用可能
- 「リモコン受光ユニット（付属）」を使えば、後部座席から楽々操作
- S-VHS簡易再生機能（\*SQPB）搭載

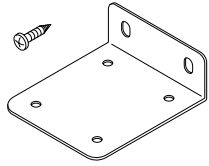
\* SQPB機能では、S-VHSで記録されたテープを簡易的に見ることができます。

S-VHS本来の高解像度、高画質は得られません。

・ SQPBとはS-VHS クワジプレイバック Quasi Play Backの略です。

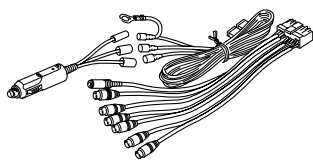
## ④ 付属品

- 付属品をお確かめください。

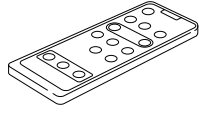


取り付けキット  
プレート×2

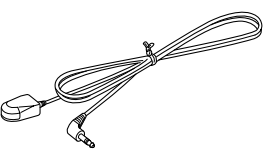
（タッピングねじφ5×20mm×4  
ねじM5×8mm×4  
マジックテープ×2組）



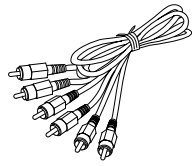
電源コード（5.5m）



リモコン  
（RM-RK38）



リモコン受光ユニット（5m）



AVコード（5m）



ボタン電池1個  
（CR2025）

## ⑤ 保護回路について（自己診断）

本機には保護回路が内蔵されています。

つゆつき状態で使用すると、テープやビデオヘッドを傷める原因となります。

### つゆつき感知回路

■ 車内の温度が低いとき、急激に暖房を行ったときや、車内の湿度が高い状態にあると、ウインドウの内側が曇る（露がつく）ことがあります。それと同じようにビデオ内部にも露がつくことがあります。

■ “つゆつき”のときに、つゆつき感知回路が動き、電源ランプが緑色で点滅して本機は停止状態になります。このときテレビ画面に「つゆつき お待ちください」と表示されます。

電源を入れたまま1~2時間待って電源ランプが点滅から点灯に変わってからご使用ください。

### 高温感知回路

■ 本機の温度が高温になると高温感知回路が動き、電源ランプが赤色で点滅して本機は停止状態になります。このときテレビ画面に「高温 お待ちください」と表示されます。このようなときは、本機の電源を切り、涼しい場所にしばらく置くなどしてから再度電源を入れ、ランプが点滅していないことを確認してからご使用ください。

### 異常電圧感知回路

■ 本機の電源回路が動作範囲外の電圧を検出すると、異常電圧感知回路が動きます。このとき、本機の電源ランプはオレンジ色で点滅して電源が切れます。また、テレビ画面に「異常電圧 確認してください」と表示されます。

このようなときは、本機が正しく接続されているか、または、バッテリー電圧が十分であるか確認してください。

### テープ保護回路

■ 静止画再生またはスロー再生が約5分以上続くと、本機はテープ保護のため、自動的に停止状態になります。

## ⑥ 故障かな？と思う前に

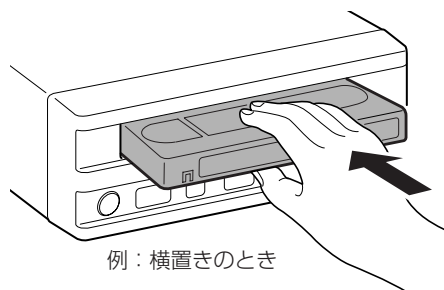
症状	原因	処置	参照項目
電源が入らない。	●電源コードが外れている。	●電源コードをしっかりと差し込んでください	別紙
電源が入っているのに動作しない。	●動作中にシガレットライタープラグの接触不良や車のキー操作などにより電源が一時的に切れた場合にテープのたるみ取り動作を行うため。 ●電源ランプが点滅している。	●シガレットライタープラグをクリーニングし、しっかりと差し込んでください。 ●テープのたるみ取り動作を待ってからボタン操作をしてください。 ●つゆつきがおきています。数時間待ってからお使いください。 ●高温感知回路が働いています。車内を涼しくしてください。 ●異常電圧感知回路が働いています。本機が正しく接続されているか、または、バッテリー電圧が十分であるか確認してください。	① ⑤
日本語と外国語が同時に聞こえる。	●HiFi(ステレオ)が選択されている。	●リモコンのAUDIO ボタンで聞きたい音声を選択してください。	⑨
DISPLAY表示が画面から消えない。	—	●リモコンのDISPLAYボタンを押してください。	⑨
再生画面の一部にノイズが出る。	●トラッキングがずれている。 ●ノイズがいつも同じところに出るときは、テープに傷があります。	●リモコンのAUTOボタンを押してオートトラッキングを解除し、きれいになるようTRACKING+/-ボタンで調節してください。	⑪
静止画が上下にブレる。	●垂直同期がずれている。	●リモコンのTRACKING+/-ボタンで調節してください。	⑪
・色がおかしい。 ・映像が出ない。 ・音が出ない。	—	●お使いのモニターTVの取扱説明書をご覧ください。	—
・画面がザラザラする。	●ヘッドが汚れている。	●ヘッドクリーニングテープで清掃してください。	⑦

●シガレットライターソケットをご利用の場合

本機が正しく動作しないときは、一度本機の電源を切ってから再度電源を入れて操作し直してください。

## ⑦ カセットの出し入れ

### カセットの入れかた

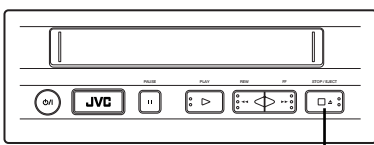


例：横置きするとき

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押し

- 電源が入ります（オートパワーオン）。
- カウンターが0：00：00になります（オートカウンターリセット）。
- カセットを入れると、自動的に再生が始まります（オートプレイ）。
- 車の揺れでテープが振動しないよう、ビデオがカセットを強く押さえようとする場合があります。このようなときは、強めにカセットを押さないと入りません。一度カセットを取り出してから再度入れ直すと、軽く入ります。
- カセットを挿入中、つまってカセットが斜めに入るなど、入れかたによっては内部の保護回路が働いてカセットが自動的に出てきます。このようなときは、数秒間待ち、もう一度正しく入れ直してください。

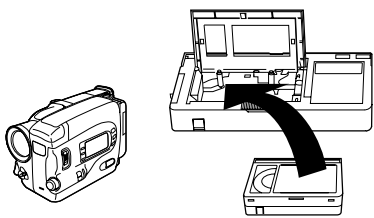
### カセットの出しかた



停止状態から取出しボタンを押す

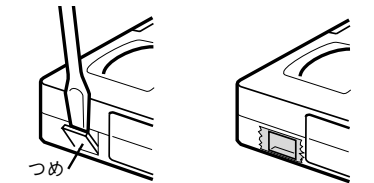
- カセットの出し入れ口には、手や、異物を入れないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。

### ビデオムービーで録画した VHSカセットを見るには



- VHSカセットアダプターC-P6BK（別売）をご使用ください。

### 大切な記録を消さないために



つまみ（誤消去防止用）を折って、取り除いてください

- ふたたび録画したいときは、セロハンテープを2重に張ってください。

### きれいな画面でご覧いただくために（クリーニングテープ）

■長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。このようなときは、別売の「クリーニングテープ」でビデオヘッドを掃除してください。

#### ■こんな症状になったら

- テープを再生すると、ザラザラした画面になる
- 映像が不鮮明、または映らない
- 画面に「クリーニングテープをおためしてください」と表示される



こんなときは

●乾式のクリーニングテープTCL-DE（別売）を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

#### ■ヘッドの汚れの原因

- 高温・多湿（梅雨時期など）
- 空気中のほこり
- テープの傷、汚れ
- 長時間の使用など



## ⑧ 主な仕様

- 電源…………… DC12V マイナスアース車専用
- 外形寸法…………… 260mm×94mm×270mm（幅×高さ×奥行）
- 質量…………… 3.2 kg
- 許容動作温度… 0℃～+40℃
- 許容相対湿度… 35%～80%
- 許容保存温度… -20℃～+60℃

- 接続端子
- 映像…………… 入力0.5～2.0V(p-p)/75Ω（ピンジャック）  
出力1.0V(p-p)/75Ω（ピンジャック）
- 音声…………… 入力-8dBs/50kΩ（ピンジャック）  
出力-8dBs/1kΩ（ピンジャック）

- ビデオ（映像）
- 再生方式VHS方式（S-VHS簡易再生機能付き）
- …………… HiFi4ヘッドヘリカルスキャン
- 映像信号…………… NTSC日米標準信号

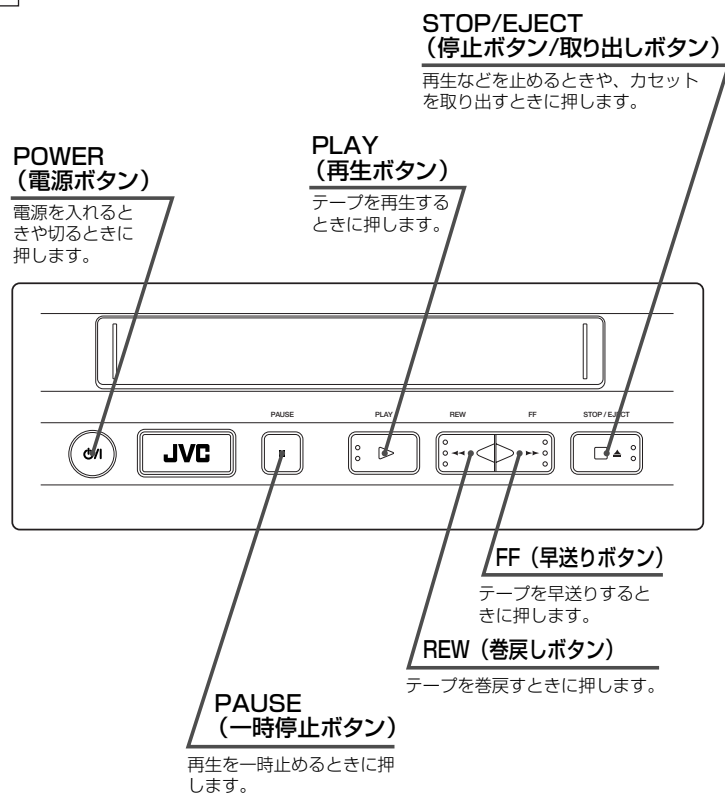
- リモコン… Aコード  
（本体はAコード/Bコード自動切換）
- 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- このビデオは日本国内に限り使用できます。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

- オーディオ（音声）
- 音声トラック… ハイファイ2チャンネル+ノーマル1チャンネル

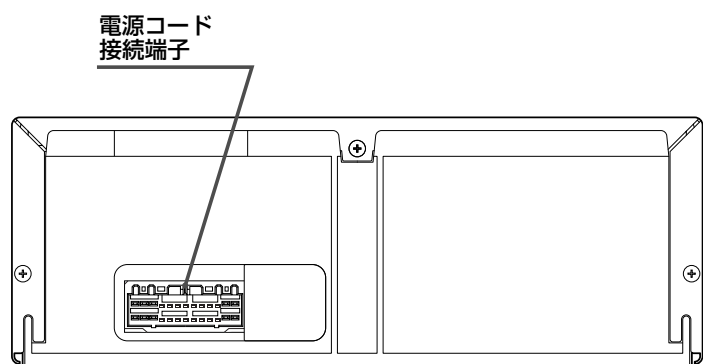
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

## 9 各部のなまえとはたらき

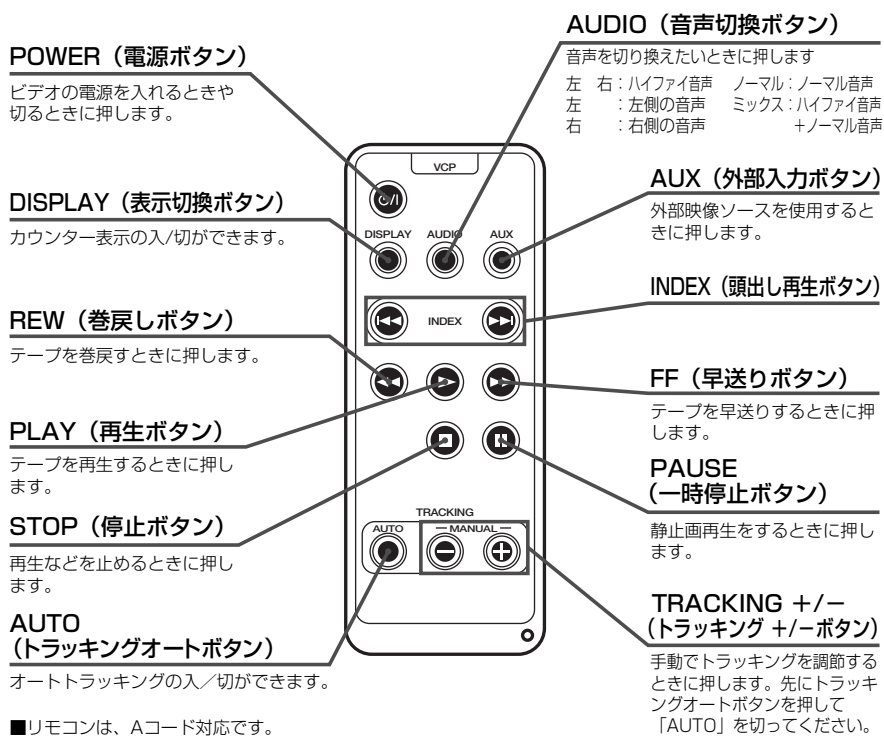
### 本体前面



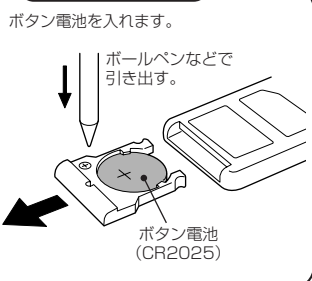
### 本体背面



### リモコン



#### 電池の入れかた



- 電池についてのご注意
- 付属の電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。

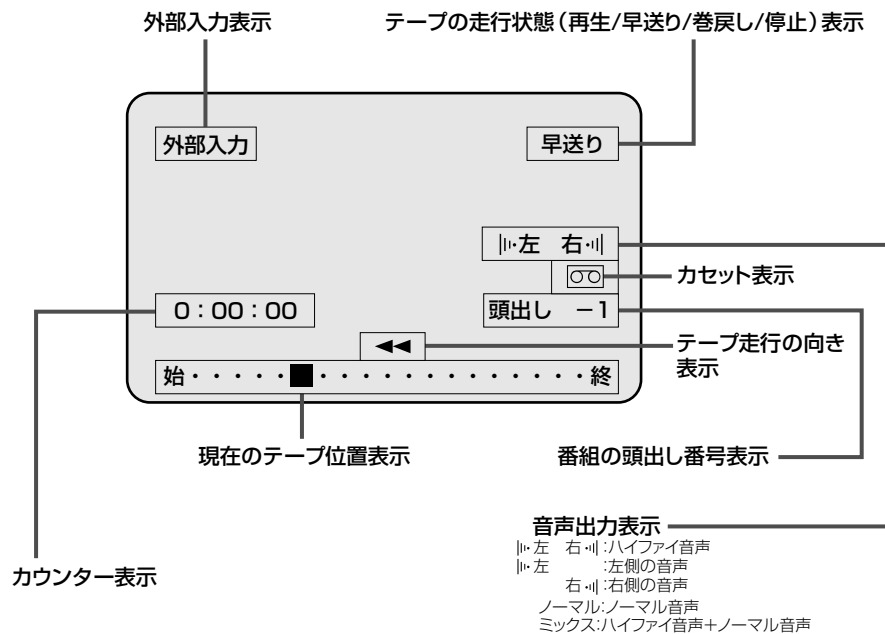
- 電池交換の目安は
- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい電池に交換してください。

- 電池を交換するときは
- ボタン電池 (CR2025) をご使用ください。
- 電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

- 使用済みの電池は
- 使用済みの電池は、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

## 10 画面の表示

テレビ画面に出る表示で動作が確認できます。  
各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に約5秒間表示します。



## 11 再生するには

### 再生する

準備 テレビを、外部入力 (ビデオ1、ビデオ2など) にしてください。

### 1 電源ボタンを押して電源を入れる

### 2 テープを入れる

- テープを入れると、自動的に再生が始まります。
- トラッキングが自動的に調整されます。
- SQPB機能により、S-VHSで記録されたテープを簡易的に見ることができます。  
(S-VHS本来の高解像度、高画質は得られません)

- 再生をやめるときは、停止ボタンを押します。
- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻戻されます。
- ノイズが出るときは、リモコンのトラッキングオートボタンを押したあと、画面の表示を見ながらトラッキング +/- ボタンでノイズが消えるように調節します。

### 早送り/巻戻しをする

### 停止中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押す

- 巻戻しボタンを押したあと、2秒以内に電源ボタンを押すと、テープの始めまで巻戻してから電源が切れます。
- また、2秒以内に再生ボタンを押すと、再生が始まります。

### 映像を見ながら早送り/巻戻し再生をする

### 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを「ボン」と押す

- 標準モードでは7倍速、3倍モードでは21倍速でサーチ再生します。
- 通常の再生に戻るときは、再生ボタンを押します。
- 早送りボタンまたは巻戻しボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻し再生され (標準モードでは5倍速、3倍モードでは7倍速) 指を離すと通常の再生に戻ります。

## 静止画再生/コマ送り/スロー再生をする

### 再生中に一時停止ボタンを押す

- 静止画再生になります。
- 画面が上下にゆれるときは、リモコンのトラッキング+/-ボタンを押して調節します。

### 静止画再生中に一時停止ボタンを1回ずつ押す

- 押すごとに1コマずつ進みます。

### 再生中に一時停止ボタンを2秒以上押す

- 1/6倍速でスロー再生します。
- ノイズが出るときは、リモコンのトラッキングオートボタンを押したあと、トラッキング+/-ボタンでノイズが消えるように調節します。

- 通常の再生に戻るときは、再生ボタンを押します。



- 可変速再生中は音声が出ません。
- 早送り/巻戻し/スロー再生中にノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。
- 静止画再生またはスロー再生を5分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止状態になります。
- 録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、トラッキングを十分に調節できないことがあります。
- ビデオの電源を入れたときやカセットを挿入すると、自動的にオートトラッキングになります。

## リピート再生をする

### 再生中に再生ボタンを5秒以上押す (再生表示が点滅します)

- テープの始めから終わりまで、繰り返し再生を20回行います。

- 途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

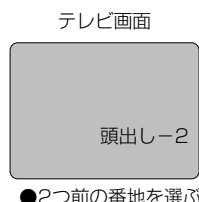
## 12 頭出しで再生するには

### 番組の頭出しをして再生する

#### 頭出し再生

録画の開始点に付けられたマーク(VISS\*)を目印に番組の頭出しをします。当社のビデオデッキ等で録画したテープには自動的にVISSマークが記録されています。  
\*VHS INDEX SEARCH SYSTEMの略字です。

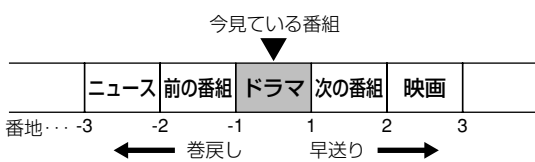
### 1 停止または再生中にリモコンの頭出し再生ボタンで番地を選ぶ



- 希望の番地を探し自動的に再生します。
- 押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと数字が減ります。
- 最高±9番組まで指定できます。

- 途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

### 番地のかぞえかた



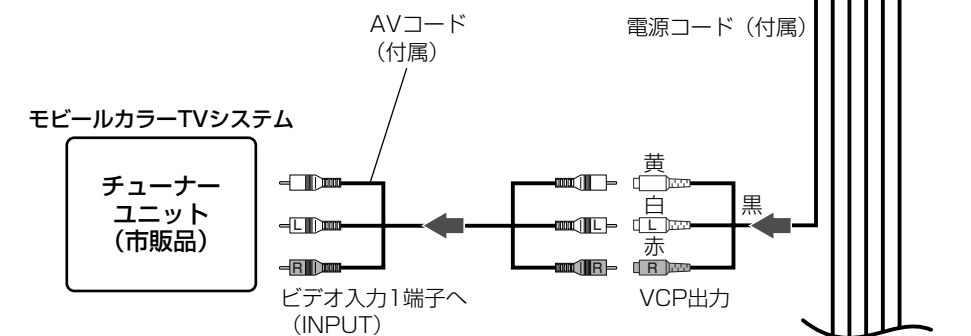
- 【例】 次の番組を頭出しする場合  
頭出し再生 ▶▶ ボタンを1回押します。
- 前の番組を頭出しする場合  
頭出し再生 ◀◀ ボタンを2回押します。

## 13 他の機器と接続するには

### モバイルカラーTVシステム(市販品)と接続するには

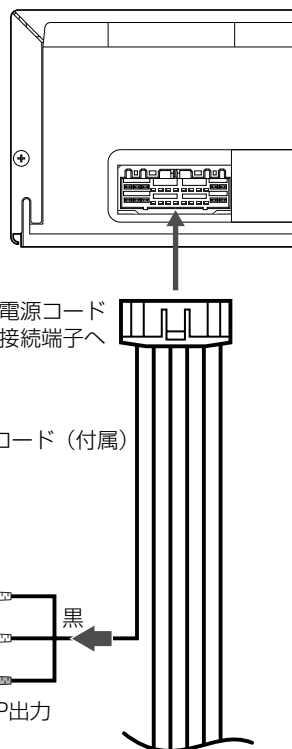
モバイルカラーTVシステム(市販品)のチューナーユニットに接続します。

### 1 本機出力端子とモバイルカラーTVシステムのチューナーユニットのビデオ入力1端子を接続する



#### 接続使用例

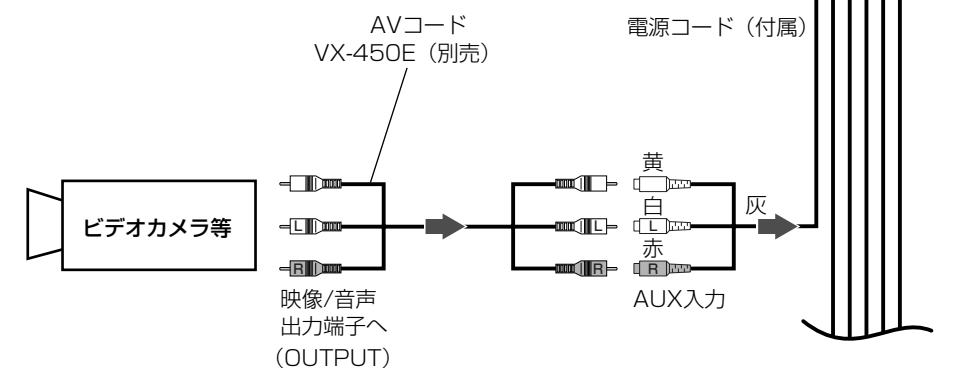
##### 信号の流れ



### ビデオカメラ等と接続するには

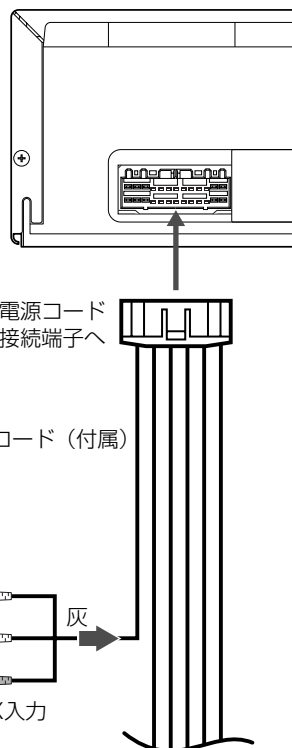
ビデオカメラ等と接続すると、ビデオカメラで録画した映像/音声を本機に接続したモバイルカラーTVでお楽しみいただけます。ただし、機種によっては接続できないものもありますので、カメラ側の取扱説明書をお読みください。

### 1 ビデオカメラ等の出力端子と本機の入力端子を接続する



#### 接続使用例

##### 信号の流れ



### 〈お知らせ〉

- ビデオカメラ等から本機に入力される信号は、本機が再生状態でないときに出力されモバイルカラーTV(市販品)でお楽しみいただけます。

### ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。  
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 カーオーディオお客様ご相談センター
別紙の 「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」 をご覧ください。	☎ (027)252-5145 FAX (027)254-8927 (ダイヤルイン) 受付時間 10:00~18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

# JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

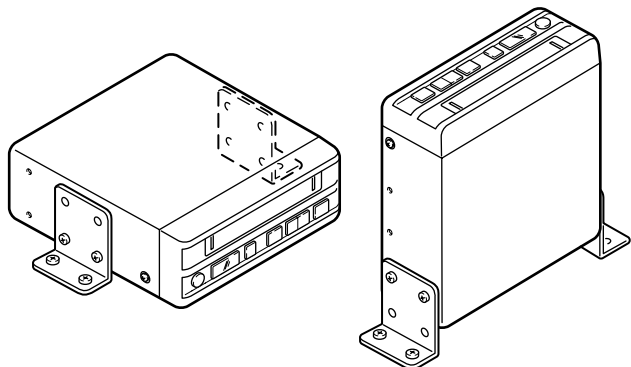
## 日本ビクター株式会社

パーソナル&モバイルネットワークビジネスユニット

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8926

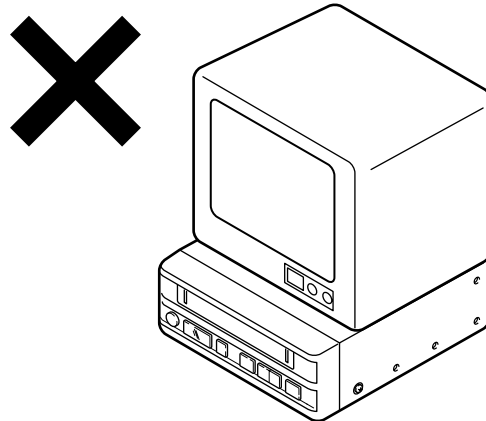
本機は車載用として小型、精密に作られていますので取り付けや取扱いの際には、以下のことにご注意ください。誤った使い方は、故障の原因となることがあります。

## ● 取り付けは取り付けキットで確実に



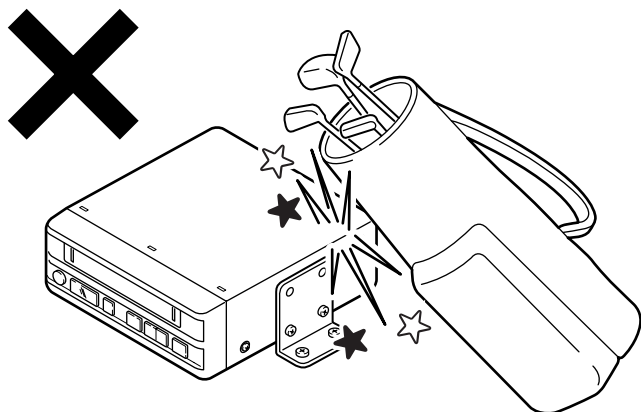
- 必ず付属の取り付けキットを使い、水平または垂直の状態に確実に固定する。またリアトレイなど直射日光の当たる所には取り付けない。

## ● 本機の上に重い物を載せない



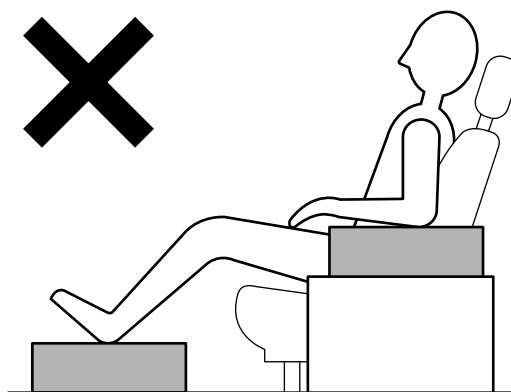
- 本機の上にTVモニターなどを直接設置しない。

## ● 荷物を当てない



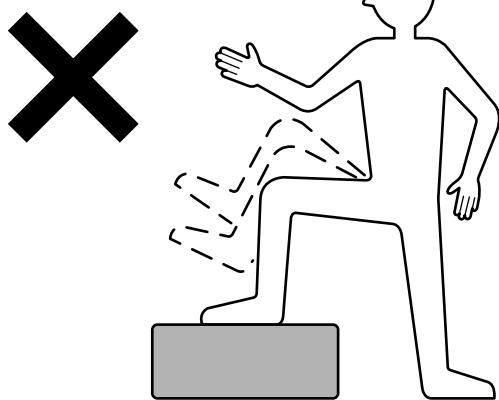
- 本機をトランクルームや荷室に取り付けるときは、荷物が本機の上に重なったり当たらない所を選ぶ。

## ● アームレストやフットレストにしない



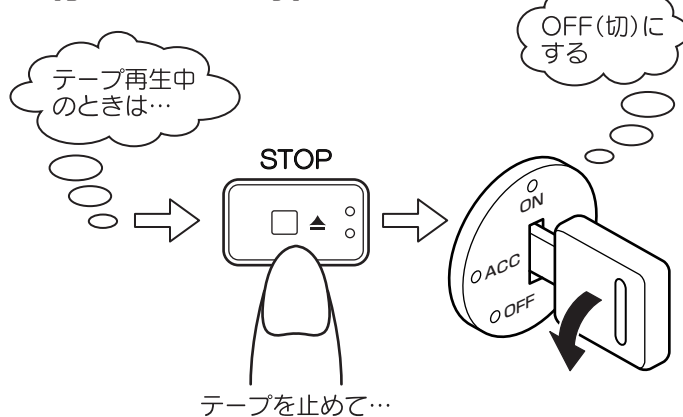
- 本機をアームレストやフットレストの代わりに使用しない。

## ● 衝撃を加えない



- ウォークスルーなど、車内で人が移動するとき踏まれるような所に設置することは避ける。

## ● エンジンキーを「OFF」にする前に停止ボタンを押す



テープを止めて...

- テープ保護のため、エンジンキーを「OFF」にするときは、先に本機の停止ボタンを押してテープを止める。